



上長  
調し  
新刊紹介

(上野回生集)

太陽 (明治三六年一月発行) 第九卷第一号

P248

これシャートフリアンが名作「ルネ」の翻訳なり、シャートフリアンは佛口ロマンチスム(原文のまま)の先駆者なりは、今日文學界遷を知らんと欲し、且所謂「在記病」の像と現はむと欲する者は、先ず此の書目を繕かざるべからず、文壇の繁栄と新奇に走らんとする今日、此の翻訳ありは文壇のその廣き心し、訳文亦悲愴の調を帯びし、著者留作者の意を伝ふるに足れり (白鳩社)

中興公論 (明治三六年一月発行) 第一号

P248





小島文八著

神田佐之助

白鳩社發行

佛蘭西の文藝家シヤトウアリソンの傑作に本を翻したる  
もの、記者は「山彦」流の青年文士にして「隠流」  
日流の筆柄を握る小島海舟生氏、原作ルネは  
泰西の詞海に新詞を導き返るロマンスムの泉源  
とし、我口今や新ロマンスムの一派起らんとするとき、  
移しに紹介したるの功也多とするに足る、文辞亦  
幽艶醇雅にして三編するに堪えたり、作者  
及び其著作目録を添えたるは記者の用意をよ  
と見るべし (蔵板錢)